

地域公共交通の崩壊を食い止めるために

資料 4

沼津市では昨年度、行政と交通事業者、有識者や観光事業者などで構成する「沼津市地域公共交通協議会」を設置し、地域にとって望ましい公共交通ネットワークを目指す「沼津市地域公共交通網形成計画」を令和2年3月に策定しました。また、路線退出への対応や、自主運行バスの運行、EVバスの運行支援など、市民の生活に必要な旅客輸送の確保と旅客の利便の増進を図るための取り組みを進めてまいりました。こうした中、新型コロナウイルス感染症の影響により、公共交通を取り巻く状況が一変しています。

◆利用者が激減しています！！

学校の休校や外出の自粛、観光客の減少が続き、今年4月の市内利用者数を昨年の同月比で見ると、路線バスは約5割、タクシーにおいては約6割減少するなど、大幅に利用者が減っています。
※静岡県内緊急事態宣言期間（R2.4.17～R2.5.17）

<参考> 4月の利用者数比較（市調査による）

	H31年4月	R2年4月	対前年度比
市内バス事業者（3社計）	662,880人	321,166人	約48.5%
市内タクシー事業者（比較数値のある5社計）	70,326人	26,356人	約37.5%

◆感染拡大防止対策の取り組みを行っています


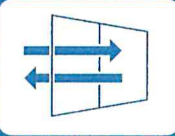




外出が必要な人がいるため、交通事業者は運行を継続しています。利用者の安全確保のため、各公共交通機関では感染拡大防止に向けて様々な取り組みを行っています。

<主な取り組み>

- ・乗務員、従業員はマスクを着用し接客しています。
- ・乗務前に健康状態を確認しています。
- ・手洗い、消毒、うがいを励行しています。
- ・手すり、つり革、にぎり棒や座席等の消毒を行っています。
- ・窓を開けての換気若しくはエアコンの吸排気機能を利用又は換気扇による換気を実施し、起終点ではドアや窓を開けて換気を行っています。

外出が必要な方のために運行を続けています

お客様の安全・安心のための取り組みを行っています

 マスクの着用・健康管理	 窓開けによる換気	 定期的な清掃・消毒
 マスクの着用をお願いします	 会話を控えるよう お願いします	 ソーシャル・ディスタンス なるべく間隔を空け ご乗車下さい

感染拡大を防止するためにご協力をお願いします

やむを得ない急ブレーキ・急ハンドルの際、危険ですので手すり・つり革をお持ち下さい。降車後に手洗いをお願いします。

◆国・県・市も公共交通を守る取り組みを行っています

利用者が少ない運行が続くと、事業は成り立ちません。このままでは、地域の公共交通の担い手である交通事業者の事業継続が危ぶまれ、そうなれば市民の生活にも大きな影響が生じる恐れがあります。

行政も公共交通を守るため、また利用促進に向けて必要な取り組みを実施してまいります。

<現在までの主な支援策>

(国)

- ・鉄道・バス等における感染拡大防止対策への助成
- ・地域公共交通確保維持事業の要件緩和（最低輸送人員等）
- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の拡充（地方公共団体施策への支援） 等

(県)

- ・地域公共交通機関維持確保支援（緊急事態宣言期間中のバスの動力費補助）
- ・タクシー車両新型コロナウイルス感染防止事業費助成（飛沫感染防止シート設置費補助） 等

(市)

- ・新型コロナウイルス対策バス・タクシー感染拡大防止支援事業補助金（感染拡大対策費補助）

※その他、地方創生臨時交付金を活用した支援策を検討中

◆みんなで対策をして公共交通を利用しましょう

公共交通を守るためには、皆さんの感染予防対策、また利用が必要です。きちんと対策をすれば、感染リスクは減らせます。市民及び来訪者の皆さんには、日常生活における重要なインフラである公共交通機関の大切さをご理解いただき、感染防止に留意の上、鉄道、バス、タクシーを積極的に利用していただくようお願いいたします。

新型コロナにうつらない、うつさないために、今、できること。

バス・電車・タクシーは、この3つ

をみんなで守れば感染リスクはほとんどありません!

監修：宮沢 孝幸 准教授
京都大学ウイルス・再生医科学研究所

1 常にしっかり換気!

これで(広義の)「空気感染」リスクはほぼゼロ!

2 「目・鼻・口」は何が何でも触らない!

これで「接触感染」リスクはほぼゼロ!

3 お静かに…。話すなら小聲で「マスク」!

これで「飛沫感染」させるリスクはほぼゼロ!

※身体が密着する際の「混乗車両」は「換気・顔エチケット」の意識が困難となり得ますのでお避け下さい。

もちろん、「顔エチケット」も大切です。★咳やくしゃみは手でおさえず、上層の内側や袖(そで)で覆いましょう。

発行：一般社団法人日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM)

沼津市役所都市計画部まちづくり政策課交通政策室
TEL:055-934-4759 FAX:055-933-1412
Email:mati-seisaku@city.numazu.lg.jp